

[illegible]

...

本邦に調査費として僅かに萬圓を計るに過ぎざりて當國に之を支持するに於ては、總領事館なる爲め大蔵省の所屬に成つたの都合を以て大藏當局の容るべきものなり終に計上するに至りしより、而して右の如く關税は内地貿易のみ關するものにして國貿易に對しては合當時の聲明通り正九年八月を以て地の關稅法を施行する事となる可く然

五	注し師範の病氣引籠りの爲に を請ひて下前し時十時より樓 下にて御禮を奉安し拜賀	御礼	五
四	借行社祝宴 席設 部を各部祝賀式は發定の通り 行はれたる借行社祝宴は 警備官の爲に警備隊除隊 官見舞を將同を代表し中 に「陛下の御進上 に御慶びを奉けしむるの既 に満ちたる御慶を門々各自 に」	御礼	四
三	三	三	三
二	二	二	二
一	一	一	一

[illegible]

分一
 全一
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

[illegible]

別荘の特長
 豪華
 商標
 日本一足
 一両六分銀
 東京日本橋小
 電報掛本八戸
 發賣元

[illegible]

禪堂生活

人間の改造

一圓相

禪堂生活は、人間の改造を目的とする。...

大連豫算膨脹

八十萬圓

大連市豫算が膨脹し、八十萬圓に達した。...

大吹雪

積雪八寸餘

大連市で大吹雪となり、積雪が八寸餘に達した。...

寫眞

河原寫眞館

河原寫眞館の最新作品を紹介。...

大連石炭不足

大連市で石炭が不足している。...

出入船舶激増

廿三萬餘噸

大連市の出入船舶が激増し、廿三萬餘噸に達した。...

本浦のお正月

本浦のお正月の様子を紹介。...

警備船の損傷

警備船が損傷を受けた。...

臺中避難

臺中市で避難が行われている。...

大連市街の風景

大連市街の風景を紹介。...

伊達騒動

小金井青洲講演

伊達騒動の真相を小金井青洲が講演した。...

天體の話

天體に関する話を紹介。...

演藝案内

演藝界の最新情報を紹介。...

伊達騒動

小金井青洲講演

伊達騒動の真相を小金井青洲が講演した。...

天體の話

天體に関する話を紹介。...

演藝案内

演藝界の最新情報を紹介。...

大連市街の風景

大連市街の風景を紹介。...

臺中避難

臺中市で避難が行われている。...

大連石炭不足

大連市で石炭が不足している。...

出入船舶激増

廿三萬餘噸

大連市の出入船舶が激増し、廿三萬餘噸に達した。...

本浦のお正月

本浦のお正月の様子を紹介。...

警備船の損傷

警備船が損傷を受けた。...

臺中避難

臺中市で避難が行われている。...

大連市街の風景

大連市街の風景を紹介。...

伊達騒動

小金井青洲講演

伊達騒動の真相を小金井青洲が講演した。...

天體の話

天體に関する話を紹介。...

職業

手元八圓以上
職業紹介所
小田原市
三見本店

最新刊

児童宗教教育の基礎
日本南無講
宿命社
新人文庫
新エッセイ
傑作集
白樺の林
金の鈴
婦人経済思想史
社会改造思想史
大坂屋

大坂屋

用御鋼範模局藥科醫大帝
るれ掘を成植の高最

酒の酒

純正特選
葡萄酒
著名和洋酒店食料品店販賣

ポルトワイン

血肉元氣増
純正特選
葡萄酒

謹賀新年

キリンビール
東京本町壹丁目
明治屋京城支店

りん病

りん病
りん病
りん病



新年之辭

金言

誠は人の道なり之を誠にするは人の道なり

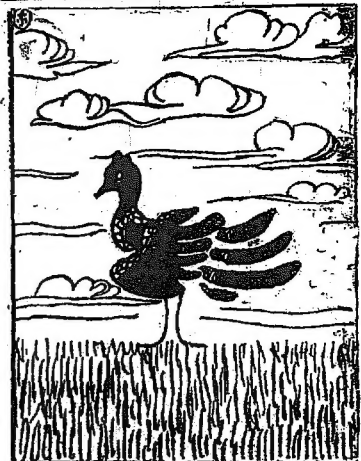
(孔子)

茲に謹みて新春の賀を呈し各位の御慶福を祈上候

畏くも昨秋 聖上龍駕を當市に枉げさせ給ふや 仁丹は重ねて御嘉納の光榮に浴す之れ偏に仁丹愛用諸彦の深甚なる御同情の賜と感銘措く能はざる所に御座候就而將來益々原藥精選に力め以て海岳の御眷顧に相酬可申候間何卒幾段の御愛用切に奉悃願候 敬白

大正九年一月一日

仁丹本舗 森下博藥房

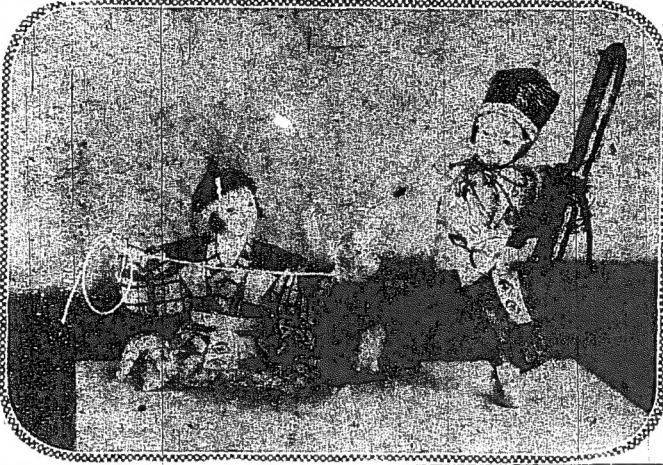


矢橋小葩

猿丸のてゝ兩肘を張り、物を
 つたつた形に兩手を構へ、猿丸
 夫婦の形を見せ「速子ちゃん」
 又一過りして、左の平手三右
 腕を打ち合せながら、猿盛
 向つて三足居する。「太夫やい」
 左の足を後上げ、兩手を構
 心に貼るやうに、更に身振を返
 つて、腰向きになり、片足で
 つまづく。
 (奥達)の「お猿やい」
 三右で腰、兩手をかけて、
 猿の身振なり、左、右三右
 三右短く呼子局下、先づ速つた
 方向を定める處を、猿盛に立て
 手を離さず、猿盛の手に割れ
 差し、其の方向を人の差し指で
 示し、決心したる時、入れて、
 猿盛の小脇をポンミ打つて、其
 足を引き、左手を弱て、首を三
 右に振つて廻る。
 (奴)もつかり勇梅が「で、兩
 腕の袖を左右さして、猿の袖を
 取り取り、早く早く狂
 言に構へて、早足に猿盛に
 かれば、猿盛にけり猿盛に
 此の時に、同席に、猿はは
 猿を見つけたて走り、背、猿
 猿中の下に居て
 (奥)これ太夫こゝに居やつた
 かサチこゝへ来いこゝ
 (奴)そりや其の猿の主はさき
 まか
 (奥)左様でござります
 (奴)これく何き物は相猿
 やが、その猿をさう譲つ
 ては呉れまいか
 (奥)用なき事ば仰りませ
 の太夫を手放しましては
 尊いものぢや成ませ
 (奴)成程尤もござる。アレ
 所に御座る女中は、更科
 水廻り御機云ふお大名の
 代参、今般留の御遊に
 大目、用申の間に、猿た
 が入用やと仰に、こなた
 猿を買つては呉れまいか
 (奥)い何ほう大内の御
 もこればかりは御免な
 れてござります
 (大)そんならさうでもなら
 ざるや、女さあなさり
 猿の、上意を聞きやらねば
 常盤律、素袍掛けかけ大名
 威を振つてめし弓張の、矢先
 の此女中の時に、大名は
 後戻座、這入り素袍を取り
 ミ矢を待つて前に出で、上向
 に打つてつがつて、上向
 に打つて引き續つた形を見せ
 猿盛は、それを見るや、愛
 て猿をばし、手向に止め、
 形に、左手を出て平伏する
 (奥)アア、お待なさう
 下さま、今、此上は
 し方、御座りませぬ、成
 猿の腹を差し上げませぬ
 が、射殺さしては猿の由、
 御つて御用にはござ
 すまい、何て申儀がござ
 る云ひかけて、右の小脇
 (奥)オホ、よい事が御座
 する、猿の、打ちま
 して、貴所が御座るま、甲
 皮にも傷つたかねさ、打

うつほ猿の型 (段四郎)

<p>金を興へる形々仕ながら顔をひ て嘆ひ泣きながら、右の手を眼 に當てて泣き伏す。チャチャチ ヤン、チャヤチャヤン、チチン チチンの合の手で、猿が上手に 飛んでゆくに氣付き、バタと 追つてゆく。猿の腰纏を取り、 たぐつて引き寄せ、腰纏を腰へ 結びつける。ミチチンで前向きに 立ち、左足をたれながら右の手 で猿の顔を捉へし、「それががら にて樂々か」で同じ形を足歩 き、反身に鼻端を触して頭下げ た。心で「名」に下し、又あ</p>	<p>常盤津「エ、さういふことは、は の儘の形、伏目になつて自ら歌 を興つてゐる。又あるかいな」 で猿の力を向き懸、腰下を叩 き蹴る。さうして、更に立ち上 つて、ちよと腰を振り、更に打つ る心におこつき、「さうなんてリッ ク」で、大名の頭を驚かす意に打 つ。こゝで、同時に、大名が振 り向くので、驚いて腰に骨に懸し て、前向きに立つ。この時、猿は 手を指し、猿を打つ間奏ので</p>	<p>「お、あれし（御覽じませ、 今打ら殺さるゝも知らず、 あのやうに、無智く原形を ば殺しませう。」 （大）「そんな何ん云やうい ふ殺さるゝも知らず、今 を殺さるゝも知らず。」 （大）「殺生は、物を知るゝ 如何に主命なれば、物 の哀れも知らずや。」 （大）「さうしそれが殺され やう、命は惜たに、連れて 歸りや。」</p>	<p>「お、あれし（御覽じませ、 今打ら殺さるゝも知らず、 あのやうに、無智く原形を ば殺しませう。」 （大）「そんな何ん云やうい ふ殺さるゝも知らず、今 を殺さるゝも知らず。」 （大）「殺生は、物を知るゝ 如何に主命なれば、物 の哀れも知らずや。」 （大）「さうしそれが殺され やう、命は惜たに、連れて 歸りや。」</p>
---	---	--	--



して、さちよつこ右手で打形を見せ
 (奥上けます)
 ご思ひ入つた云ひ廻しをする
 大名
 (大それた乾度打殺して、
 さ、早う殺せ)
 殺しつゝ云ひ放つゝ、それを
 受けて猿が
 (奥)はア
 云ひながら伏するゝ、猿
 聲「長まつて御座るゝ立ち上
 り」で右の眼瞼足へ左足の手
 をかけて一足下り、次に左の足
 を同じやうにして一足下り、く
 るゝ右手向きに振り向きなが
 ら立ち上り、熱く思ひ入を仕なが
 らるゝ。
 チン、チン、チン、チンの合
 の手で小猿を手元へ引き寄せ常
 聲「律」の父あるまじきお望みは
 猿を聞かぬ心合ひの心。咄々
 で猿を殺せとある」で眼を立、
 延び上り、大名を左の手で指差
 し更に右の手を廊ぐ上げて打ち
 殺す振りをし、始終、猿に云ひ
 けに、左の手に「上」せしも
 叫に當てて静殺しを「殺せしも
 の情なき」で兩手を「倒へ入
 れながら、廻つて後向きに來に
 がつて右足を踏み、身動でしな
 を仕ながら憂ひの思ひ入れで眼
 を突き坐り。
 (奥)畜生ながら、さう聞けよ上
 り」で奥四郎が女大を、早
 人間に」で左の手を猿の顔に當
 て、右の手を膝に置き下手から
 首を大きく廻して十分に、憂ひ
 の思ひ入れを仕ながら猿の顔を
 の受け入り、ぢりぢりさう手に押
 てゆき情の迫る思ひ入れ、次に
 で猿の兩手を取つて正面向きに
 足を削つてが上り猿の頭へ兩手
 をかけ、右左へ廻振りをし「生
 殺つて来るやうに」で猿の脚
 へ手をかけ、くるゝミントボを
 手へせ、猿が股をくづつて、後
 して更に前から矢張りよろめき
 に臨れるのを氣づかずに兩手を
 眼に當て、泣き上げる。又へ込
 んだる一躍に」で前を見て猿の
 度又打ち兼ねる科をし、三度目
 けらぬに心付き、きよらう見に
 けなく大きく猿にけいて十

<p>謹賀新年 會公 御料理 梅の家 電話五七番</p>	<p>謹賀新年 公州 柳組合 電話白十四番</p>	<p>謹賀新年 公州 御料理 湖月 電話二三番</p>	<p>謹賀新年 朝鮮銀行支店長 久保正次郎 電話四〇番</p>	<p>謹賀新年 公州 川崎平太郎</p>	<p>謹賀新年 公州 小林増太郎</p>	<p>謹賀新年 公州 大塚浩</p>	<p>謹賀新年 公州 常盤旅館 電話三〇番</p>	<p>謹賀新年 公州 河野旅館 電話五〇番</p>	<p>謹賀新年 公州 朝日旅館 電話四五番</p>
<p>謹賀新年 京釜線大田本町 大田鐵道病院 院長 佐藤徳太郎 長電話四八番</p>	<p>謹賀新年 京釜線大田驛 大田取引店 村尾芳勢 長電話二八番</p>	<p>謹賀新年 朝鮮大田連孝里 大田皮革株式會社 長電話三四番</p>	<p>謹賀新年 京釜線大田榮町 米賣商 内田 商店 長電話四番</p>	<p>謹賀新年 石坂商店 千石商店 石坂商店 日一丁 本田大 藤安農具店</p>	<p>謹賀新年 精米玄米 朱澤商店 支店長 房榮路力郎 振替京城六八二</p>	<p>謹賀新年 內國通運株式會社 釜山支店 支店長 房榮路力郎</p>	<p>謹賀新年 釜山本町二丁目 坂田文吉</p>	<p>謹賀新年 釜山府 石川精米所 電話八二〇番</p>	<p>謹賀新年 釜山府 大田運輸會社 長電話一八番</p>

<p>謹賀新年</p> <p>南湖洲鐵道株式會社 京城管理局承認 朝鮮總督府承認 中華民國海關 南洲安東郡 朝鮮運輸聯合會加盟店</p> <p>價物取扱 北華通商株式會社</p> <p>電話 三四二番 振替 京銀五九七番 電略 〃又(〃)</p>	<p>謹賀新年</p> <p>京城南大門市場</p> <p>海產物 雜穀 飼料 肥料 池尻 林太郎</p> <p>長電話 二五一番 振替 京城 八六番</p>	<p>謹賀新年</p> <p>安東縣 潘通四丁目 番地</p> <p>各地產木材 建築材料 大連木材株式會社</p> <p>安東縣出張員 金原三郎</p>	<p>謹賀新年</p> <p>京城府 龍山 派江通</p> <p>株式會社 十八銀行新龍山支店</p> <p>電話 五五〇番</p> <p>同 元町二丁目</p> <p>株式會社 十八銀行龍山出張所</p> <p>電話 一八番</p>	<p>謹賀新年</p> <p>金州大正町二丁目 日の丸旅館 電話 二二〇番</p> <p>金州大正町三丁目 吾妻屋旅館 電話 一〇七番</p> <p>金州本町二丁目 菊の家旅館 電話 二二六番</p> <p>金州本町三丁目 平野屋旅館 電話 二四〇番</p> <p>金州本町四丁目 銀杏屋旅館 電話 一〇一番</p>
---	--	--	--	--

平壤本町

朝鮮電氣興業株式會社

資本金壹千萬圓

▲電力の供給 ▲電機工業其他化學工業品ノ製造販賣
▲採炭事業並ニ石炭ノ販賣 ▲煉炭其他加工品ノ製造販賣
▲以上各號ニ附帶スル一切ノ業務

取締役 馬 越
専務取締役 米 山
支配人 伊 藤
監 理 久 田
平 岡

謹賀新年

大豆及雜穀輸出
綿糸布及雜貨輸入

長春新市街東十區二號

裕興洋行

電話 三三七番
電信 略號ニシテ

謹賀新年

龍山醫師會

謹賀新年

東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府
一府	一府	一府	一府	一府	一府	一府	一府	一府	一府
六金	六金	六金	六金	六金	六金	六金	六金	六金	六金
三町	三町	三町	三町	三町	三町	三町	三町	三町	三町
九丁	九丁	九丁	九丁	九丁	九丁	九丁	九丁	九丁	九丁
番	番	番	番	番	番	番	番	番	番

小 林 藤 右衛門
小 林 樂 山 鑛業所
小 林 洪 川 鑛業所

謹賀新年

京道府明治町一丁目

三井物產株式會社

安東縣出張所

電話 三五三番

謹賀新年

朝鮮殖産銀行平壤支店
朝鮮殖産銀行平壤支店
朝鮮殖産銀行平壤支店

謹賀新年

蛇目鑛業所

本部 京城南米倉町 電話 九三〇番
分所 主 蛇 目 萬 次 郎
支店 元山町十六番地 電話 三三八番

謹賀新年

伊藤 齊 藤 吹
井 民 治
三 郎

謹賀新年

營業品目 綢緞、布、紙、蠟、燭、炭、雜貨、和洋雜貨、藥、酒、油、砂糖、有各名產、各種雜貨

山 商 會

李 洪 根 告

謹賀新年

營業品目 綢緞、布、紙、蠟、燭、炭、雜貨、和洋雜貨、藥、酒、油、砂糖、有各名產、各種雜貨

山 商 會

李 洪 根 告

年 新 賀 禧

[illegible]

[illegible]